

8-4-27 参加型計画専門委員会

1. 主な活動の記録

本専門委員会は、公共事業における市民参加のあり方と建設コンサルタントの対応検討を目的として、平成17年より活動をしている。

(1) 委員会の開催

令和元年度の活動は、専門委員会を10回開催、講習会1回、現地勉強会3回、事例ヒアリング1回開催した。主な活動は、下表の通りである。

表1 専門委員会の開催と主要活動状況

回数	日付	活動項目
1	4/16	年度計画の設定とWG役割分担
2	5/14	勉強会の方針決定（草津市）
3	6/12	講習会の方針決定（東京）
—	6/25	外部機関（dec）との勉強会
4	7/10	草津川跡地公園視察勉強会
5	8/7	視察勉強会とりまとめ
6	9/10	講習会の内容確認
—	9/27	シーニックカフェ視察勉強会
—	10/5	出石まちづくり事例ヒアリング
7	10/8	講習会資料確認、視察報告
—	10/31	講習会の開催（東京）
8	11/12	講習会の評価とWGの進捗確認
9	12/10	本年度のWGのとりまとめ確認
10	1/15	今後の活動の意見交換
—	2/10	幹事会：次年度の活動について

(2) 活動概要

事業マネジメントや多様化する市民要望に対応する市民参加型計画のあり方について、新たな参加型計画の取り組み事例の視察やヒアリング調査などを実施して、分析整理した。それらの成果をとりまとめて講習会を開催した。

また、ホームページを活用した広報活動を積極的に実施し、勉強会、講習会の概要報告や講習会開催告知などの更新・情報発信を行った。ホームページの閲覧者は24,000ビューを越えた。

勉強会、講習会の個別内容は、以下の通りである。

a) 草津川跡地公園の視察勉強会

当委員会メンバーを対象に、7月に滋賀県草津市の草津川跡地公園の視察を行い、市の担当者に事業経緯、参加手法やポイント、課題等に関する勉強会を開催した。

b) シーニックカフェちゅうるい勉強会及び現地視察

6月に、（一社）北海道開発技術センター（dec）と合同でシーニックバイウェイ事例を対象とした勉強会を開催し、9月にその取り組み状況の現地視察を行った。

c) 出石まちづくり公社ヒアリング調査

10月に、講習会の報告事例とするため、住民が参加して地域経営を実施している TMO（Town Management Organization）の（株）出石まちづくり公社にヒアリングを行った。

d) 参加型計画専門委員会講習会

10月に、「社会資本整備事業の変化と参加型計画の今後の展開」と題して、新たな参加型計画の事例を紹介し対応の方向性を示した。また、ICTを活用した市民参加を実施している、東京大学空間情報科学研究センター特任講師瀬戸寿一様から取り組みを紹介いただき、建設コンサルタントにおける役割を議論した。

2. 次年度の活動について

行政、市民、事業者等が協働で実施する新たな参加型の地域活性化事業について、建設コンサルタントの役割、活動マネジメント手法（SROI）、対応すべき参加技術や連携する技術（ICTや資金調達手法）等の対応方針を検討する予定である。

（参加型計画専門委員会委員長 伊藤 将司）